



新京成

のんびり！おでかけ途中下車



VOL. 6 2006.09

発行 新京成電鉄株式会社 鉄道本部 運輸部 営業課
http://www.shinkeisei.co.jp/

松戸

上本郷

松戸新田

みのり台

八柱

常盤平

五香

元山

くぬぎ山

北初富

新鎌ヶ谷

初富

鎌ヶ谷大仏

二和向台

三咲

滝不動

高根公園

高根木戸

北習志野

習志野

薬園台

前原

新津田沼

京成津田沼

本福寺

寛永4年(1651年)に長州藩を脱藩した吉田松陰が東北遊歴の際最初に泊まったと、歴史小説家司馬遼太郎の小説「世に棲む日々」にも紹介されているこのお寺は、礼拝山恭徳院(いはいさんくんとくいん)本福寺と称し、東葛地区で3箇所ある時宗遊行派(ししゅうゆづぎょうは)のお寺の一つで、松戸市内ではこのお寺だけです。時宗の開祖、一遍上人(いつぺんしやうにん)の弟子である他阿上人(たあしやうにん)が鎌倉時代後期の嘉元(かげん)元年(1303年)にこの寺を開いたと言われ、境内の本尊は阿弥陀如来像を中心に右側が観音菩薩像、左側が勢至(せいし)菩薩を従えております。



▲切られ地蔵

かつて上本郷には覚蔵院というお寺がありました。この寺で盆踊りがあった夜、この辺では見かけぬ男が突然その盆踊りに乱入してきて上手に踊りだし、それを見ていた村の娘衆がうっとりしはじめたので、ヤキモチをやいた村の男衆がその見かけぬ男を斬りつけたところ、煙のように姿を消しました。そして翌朝、その村の男衆が覚蔵院の境内に来てみると、お地蔵さんに刀傷があったので、男衆は驚いて地に伏せたと囁かれております。そして後に覚蔵院は廃寺となり、現在は地蔵は本福寺に移されたとのこと。



▲本福寺

一切られ地蔵

明治神社

境内を銀杏の木で囲まれたこの明治神社は、妙見社の名称で妙見菩薩を祀った神社でした。神仏混合禁止により明治5年に今の社名に改め現在に至っております。境内には庚申塔等の石仏が数々あります。平成13年に不審火で焼失しましたが、地域の方々の努力で平成15年に新たに建て直されました。

風早神社

この風早神社は、松戸市内では一番古い神社で桓武平氏を祖とする豪族、千葉介常胤(つね)が

上本郷駅～万満寺

約3.0km

馬橋消防署、馬橋西局、馬橋駅、ゼネラル、万満寺、馬橋支所、馬橋局、第二中、八ヶ崎小、市民センター、駅入口、水戸街道、坂川、松戸競輪場、ヨロラ、トカチ、北松戸駅、本覚寺、明治神社前、専修大松戸高、明治神社、本福寺、カンスケ井戸、上本郷1、風早神社、上本郷二小、南花島、上本郷駅、上本郷局、松戸新田交差点、ampm、松戸新田駅、松戸運動公園、市立病院、陸上競技場、みのり台駅、新京成線

カンスケ井戸
本福寺脇の坂を下ったところに位置するこの湧水は、地域の生活用水や農業用水等、重要な湧水として使われてきました。現在は、鯉が湧水の中を泳いでいる姿が見られます。

■ アクセス: 新京成線上本郷下車(駅ビル2F)
■ 開館時間: 10:00~17:30
■ 休館日: 毎週水曜日

※車には十分ご注意ください。

上本郷の三匹獅子舞

ねたねの孫、嵐康(たねやす)の居館跡に創建されたと言われ、上本郷が風早郷と呼ばれていた頃、郷の中心を意味する本郷より名付けられたと言われ、上本郷にあり、上本郷にあり、上本郷にあり。

毎年10月の第2週の日曜日に行われております三匹獅子舞は、江戸時代中頃より五穀豊穡・厄病退散を願って行われてきたと言われ、上本郷にあり、上本郷にあり、上本郷にあり。女獅子(めじし)の三人一組の獅子が合計六組で構成され、猿・花・笛で構成された曲目(うた)に合わせて、太鼓を打ち鳴らしながら横笛に合わせて力強い舞いを披露し、風早明治神社の順に奉納されていきます。

万満寺

国の重要文化財の仁王門が安置されていること有名なこちらのお寺は、建長8年(1256年)に創建されたと言われ、上本郷にあり、上本郷にあり、上本郷にあり。不動明王像や唐から伝えられた魚籃観音像など数々の国や市の文化財が保存されております。中でも毎年春の3月27日、29日と秋の10月27日、29日の唐槐供養(中気除)や、仁王様の股溜り(病除)は有名で、この時期になると近郊からの多くの参拝客で賑わいます。



▲万満寺